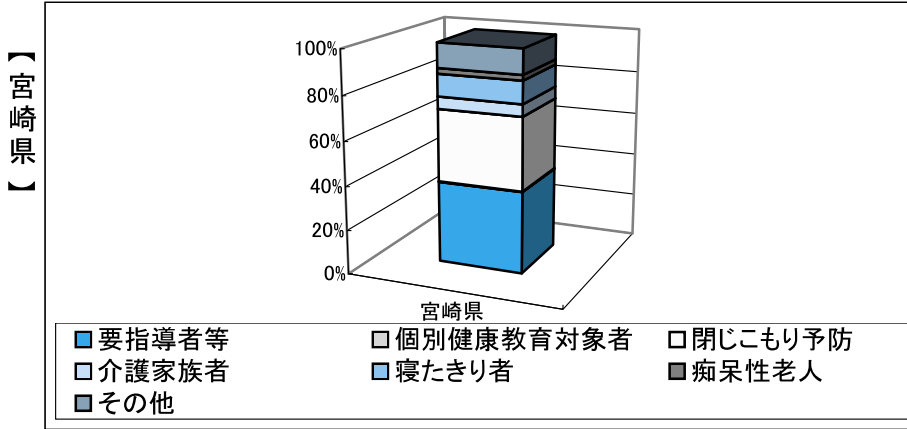
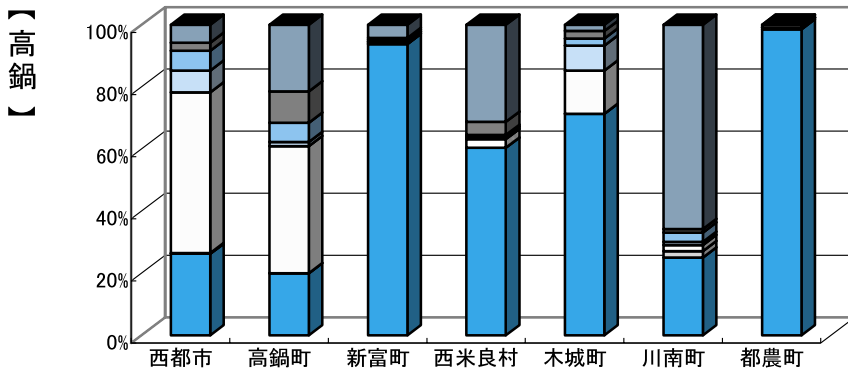
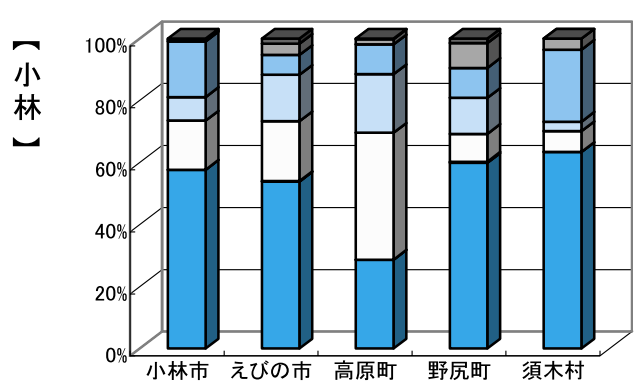
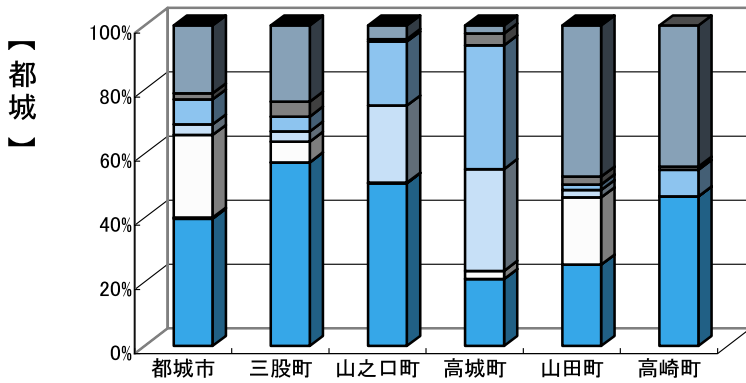
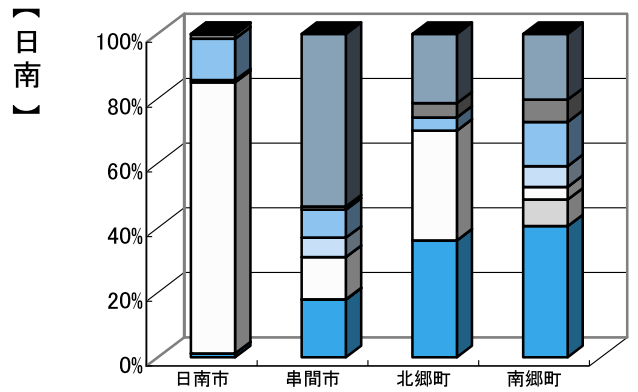
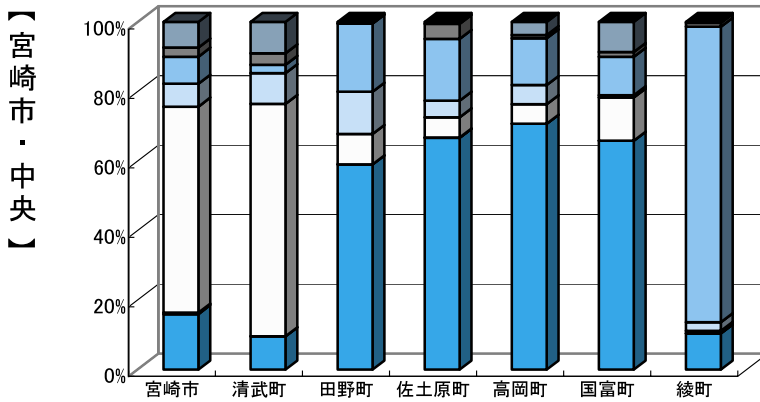


# 6 訪問指導

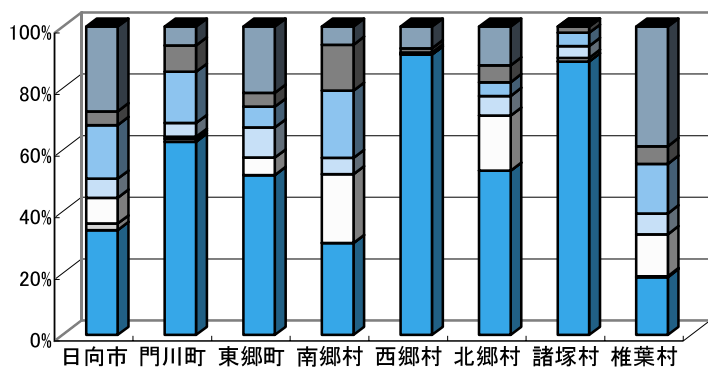
(1) 被訪問指導延人数(平成12~16年度の平均)



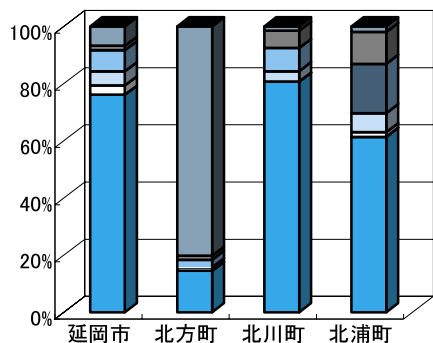
宮崎県は要指導者等が37.4%で最も多く、次いで閉じこもり予防が33.0%であった。



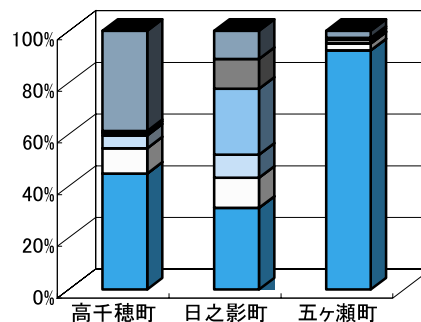
【日向】



【延岡】

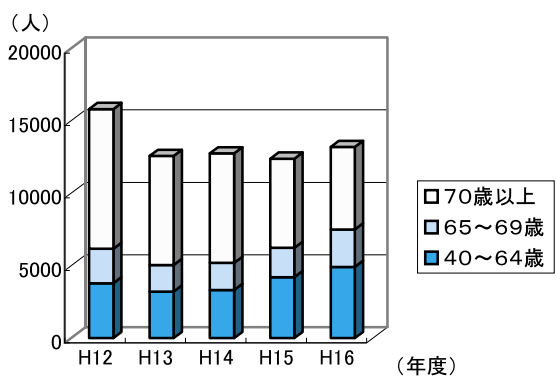


【高千穂】

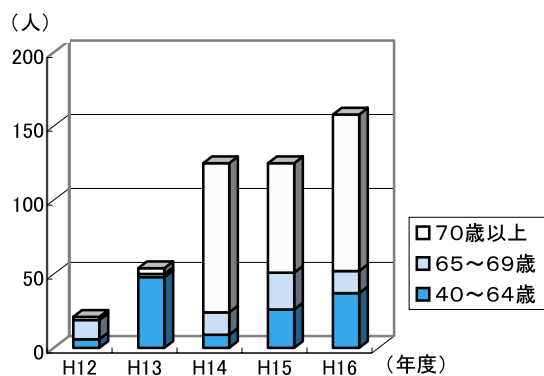


(2) 年齢別被訪問指導延人数

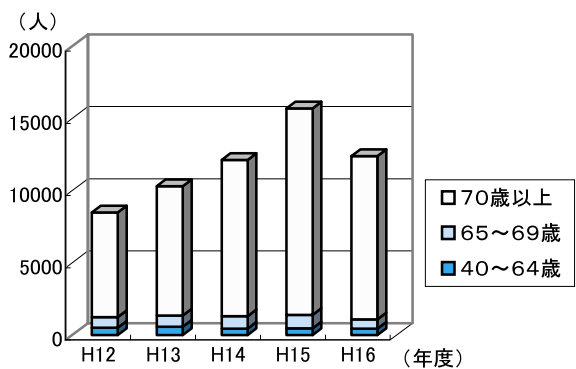
① 要指導者等



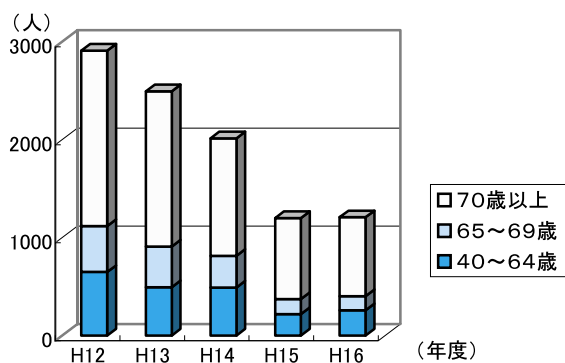
② 個別健康教育対象者



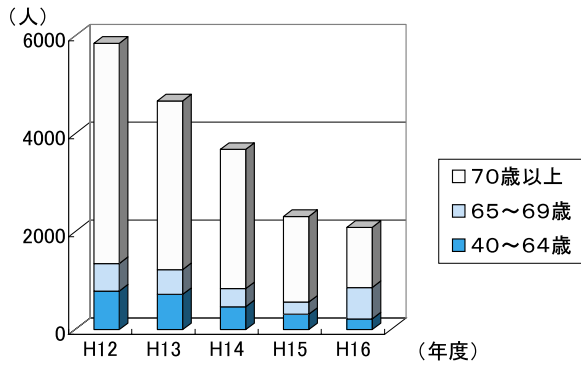
③ 閉じこもり予防



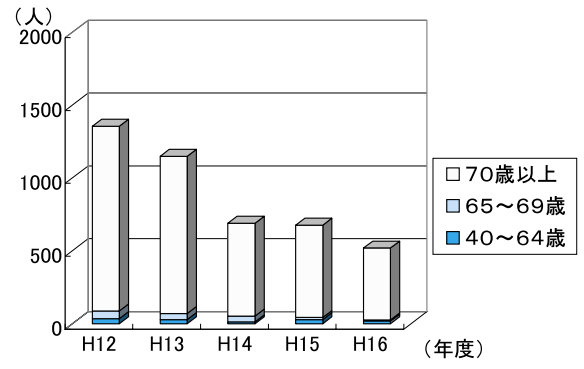
④ 介護家族者



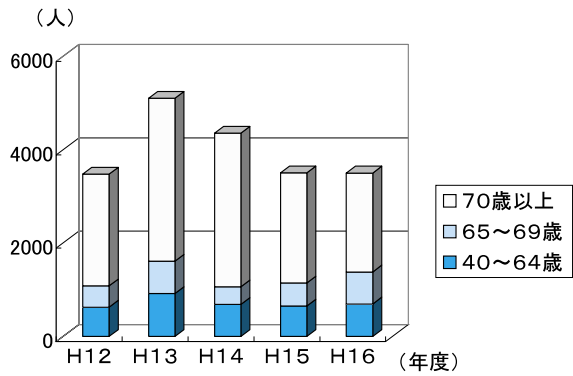
⑤ 寝たきり者



⑥ 痴呆性老人

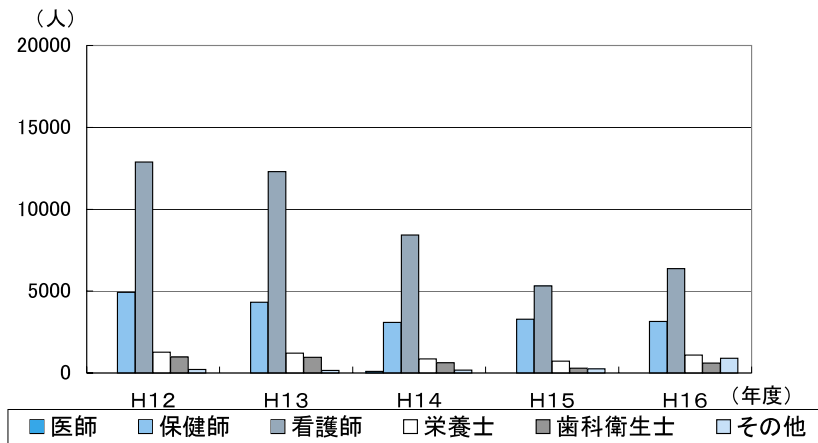


⑦ その他



70歳以上の占める割合が高かった。  
介護家族者、寝たきり者、認知症老人は年々減少していた。

(3) 訪問指導従事者延人数



看護師、保健師の占める割合が高かった。

集計・分析の対象とした老人保健事業の概要

種 類		対 象 者	内 容
健康教育	・個別健康教育	・基本健康診査「要指導」の者等	○個人の生活習慣を具体的に把握しながら、継続的に個別に健康教育を行う ・高血圧・高脂血症・糖尿病・喫煙者
	・集団健康教育	・40歳以上の者	○健康教室、講演会等により以下の健康教育を行う ・歯周疾患・骨粗鬆症（転倒予防）・病態別・葉・一般
	・介護家族健康教育	・40歳以上の者のうち家族の介護を担う者等	○介護を行う者に発生しやすい健康上の問題に関する一般的な知識や留意事項
健康相談	・重点健康相談	・40歳以上の者	○幅広く相談できる窓口を開設し、以下の健康相談を行う ・高血圧・高脂血症・糖尿病・歯周疾患・骨粗鬆症・病態別
	・総合健康相談	・必要に応じその家族等	○対象者の心身の健康に関する一般的事項に関する指導、助言
	・介護家族健康相談		○家族等の介護を行う者の心身の健康に関する指導、助言
基本健康診査	・基本健康診査	・40歳以上の者	○必須項目 ・問診・身体計測（身長、体重等）・理学的検査（視診、打聴診、腹部触診等）・血圧測定・検尿（糖、蛋白、潜血） ・循環器検査<血液化学検査>（血清総コレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪）・肝機能検査（血清GOT、GPT、 $\gamma$ -GTP）・腎機能検査（血清クレアチニン）・血糖検査
	・訪問基本健康診査	・40歳以上の寝たきり者等	○選択項目〔医師の判断に基づき実施〕 ・心電図検査・眼底検査・貧血検査（赤血球数、ヘモグロビン値、ヘマトクリット値）・ヘモグロビンA <sub>1c</sub> 検査
	・介護家族訪問基本健康診査	・40歳以上で家族等の介護を担う者	○基本健康診査の検査項目に準ずる ○基本健康診査の検査項目に準ずる
機能訓練	A型（基本型）	・40歳以上の者で、疾病・外傷その他の原因による身体または精神機能の障害または低下に対する訓練を行う必要がある者	○市町村保健センター等適当と認められる施設で実施 ・転倒予防、失禁予防、体力増進等を目的とした体操 ・習字、絵画、陶芸、皮細工等の手工芸 ・レクリエーションおよびスポーツ、交流会、懇談会等
	B型（地域参加型）	・虚弱老人（寝たきり判定基準のランクJに相当する者）	○集会場、公民館等の身近な施設や公園等の屋外で実施 ・スポーツや絵画・工芸等の創作を主体とした活動 ・交流会、懇談会および地域の諸行事への参加等を主体とした活動
訪 問 指 導		・40歳以上の者であって、その心身の状況、その置かれている環境等に照らして療養上の保健指導が必要であると認められる者	○家庭における療養方法等 ○介護を要する状態になることの予防 ○家庭における機能訓練方法、住宅改造、福祉用具の仕様 ○家族介護を担う者の健康管理 ○生活習慣病の予防 ○関係諸制度の活用方法等 ○認知症に対する正しい知識等
がん検診	胃がん検診	<ul style="list-style-type: none"> <li>・胃がん検診、肺がん検診、乳がん検診、大腸がん検診については40歳以上の者。</li> <li>・子宮がん検診については20歳以上の者。</li> </ul>	・問診及び胃部エックス線検査
	子宮がん検診		・問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診。必要に応じてコロポスコープ検査。 ・問診の結果、子宮体がんの有症状者及びハイリスク者に対しては、医療機関受診の勧奨。ただし、本人が同意する場合は子宮頸部がん検診に併せて子宮体部の細胞診を行う。
	肺がん検診		・問診、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診（医師が必要と認める者）
	乳がん検診		・問診、乳房エックス線検査（マンモグラフィ）並びに視触診
	大腸がん検診		・問診及び便潜血検査